

政策タイトル	第一次原案	第二次原案 素案	備考
全体に関すること	◆現状と課題 から	◆現状における課題 へ 現状における課題をしっかりと認識し、それに対する施策をわかりやすく整理。それぞれの対応を明確にした（項目を並び替え、タイトルをつけた）	庁内検討による修正
	政策ごとの成果指標 から	施策単位の成果指標 へ 政策全体が達成されたか否かを端的に表す指標の設定がなかなか難しいことから、施策ごとの成果指標とし、進捗状況・達成度の評価をわかりやすく進める	庁内検討による修正
1-1 市民参画でつくる協働のまち	—	【広聴の充実】 市民参画は行政の会議等への参加に限られるものではないという意見を受け、地域（コミュニティ振興会など）や市民活動等における対話型ワークショップの取り組み支援 を追記	審議会意見による修正
	—	【市民活動等の支援等】 気軽に集まることのできる場の不足、市民活動拠点の検討 を追記	庁内検討による修正
1-2 大学とともにつくる「ひと」と「まち」	—	【東北公益文科大学との連携】 ・街なか居住の促進 ・大学の「大人の学び場」としての機能充実に向けた連携を追記	未来会議意見による修正
	—	公益大以外の高等教育機関等との連携も盛り込むべきという意見を受け、【その他高等教育機関との連携】を追記	審議会意見による修正
1-3 公益の心を持ち明日をひらく子どもたちを育むまち	—	「現状における課題」に課題を具体的に追記	庁内検討による修正
	—	主な施策として子どもがスポーツに親しむ機会を連携して増やす部分を追記	庁内検討による修正
1-4 学びあい、地域とつながる人を育むまち	—	「現状における課題」に課題を具体的に追記	庁内検討による修正
	—	主な施策として安全で快適なスポーツ環境の提供を追記	庁内検討による修正
2-1 地域経済を牽引する商工業が元気なまち	主な施策に「公益大と連携したビジネスチャンス、高度情報技術者の育成」を記載	削除	庁内検討による修正
	「産業振興まちづくり推進センター（仮称）」の名称記載なし	名称を記載	他章との整合
2-2 「港」の物流機能により産業競争力が高いまち	—	「現状における課題」に課題を具体的に追記	庁内検討による修正
	市民ができること「酒田港、庄内空港の積極的な利用」	「酒田港、庄内空港に関心を持ち、利用に努める」に修正	審議会意見による修正
2-3 地元でいきいきと働くことができるまち	—	「現状における課題」に課題を具体的に追記	庁内検討による修正
	主な施策に「人手不足に対応していくための方策を検討します。」を記載	削除	庁内検討による修正

政策タイトル	第一次原案	第二次原案 素案	備考
2-4 夢があり、儲かる農業ができるまち	主な施策として、担い手への農地集積・集約化の推進を記載	農地集積・集約化は引き続き推進する必要があるが、これまでの取り組みで一定の成果が出ているため、特記しない。担い手への施策の集中的、重点的な実施という記載に集約	庁内検討による修正
	主な施策として、6次産業化の推進について記載	6次産業化の推進を削除し、農商工観連携の推進に注力することに変更	審議会意見による修正
	主な施策として、足腰の強い畜産経営の推進について記載	複合経営の推進においては、園芸振興に特に注力していくことが分かるように、畜産振興の記載を削除	審議会意見による修正
	主な施策として、老朽化した土地改良施設の更新、長寿命化の推進について記載	基盤整備については、特に高収益作物への転換を促すほ場整備の推進に注力していくことが分かるように、土地改良施設の更新、長寿命化の推進は削除。総合計画に記載しなくても当然やらなければならないことであるため、特記しない	庁内検討による修正
	主な施策として、海外プロモーション活動等による輸出拡大の推進について記載。	販売促進、販路拡大の推進という記載に集約	庁内検討による修正
	市民ができることとして、生産・流通の過程も含めた酒田産農産物の旬を学び、食べて、おいしさや魅力を発信する旨を記載	「農業に親しみ安心安全な食の生産現場を知り、郷土料理、行事食などの伝統的な食文化の継承に努めながら、その魅力を発信する」に変更	庁内検討による修正
2-5 100年続く森林を造り、活かすまち	課題として、森林資源を持続的に利用するために適切な時期に伐採し活用する必要があることを記載	今後の森林資源の利用については、間伐主体から主伐や皆伐主体に移行していく必要があることを課題として明記	庁内検討による修正
	現状として、木の家づくりを促進し、木材の地産地消を推進していることを記載	木材の地産地消が十分ではないことを課題として明記	庁内検討による修正
	記載なし	特用林産物の生産量の減少を課題として明記	庁内検討による修正
	現状として、森林病虫害等の駆除や防除により松林の保全を行っていることを記載	被害が拡大傾向にあることを課題として明記	庁内検討による修正
	今後の方向性として、100年続く持続可能で収益性の高い森林経営を推進することを記載	持続可能で収益性の高い森林経営の推進の具体策として、再造林を確実に実施することを記載	庁内検討による修正
	主な施策として、木質バイオマス燃料を安定的に供給する体制づくりについて記載	現状における課題に合わせて、木質バイオマスだけでなく、集成材の原料についても安定的に供給する体制づくりを行うことを記載	庁内検討による修正
	今後の方向性として、森林環境税（仮称）の積極的な活用について記載	国等の財源の積極的な活用は施策を実現するための手段であり、当然行っていくことであるため、記載しない	庁内検討による修正

政策タイトル	第一次原案	第二次原案 素案	備考
2-6 恵み豊かな水産を活かすまち	課題として、「庄内海丸」の認知度が低い状況にあること、庄内浜文化伝道師の活用について記載	内陸部での認知度が低い課題を数値として分かりやすく伝えるため、内陸部における流通比率が10%程度にとどまっていることを記載。庄内浜文化伝道師が十分に活用されていないことを課題として明記	庁内検討による修正
	主な施策として、スルメイカ、トラフグ、マダイ等のブランド化の推進について記載	四季を通じて途切れることのないブランド化の推進が必要との意見を反映し、四季を通じた魚のブランド化の推進に変更	審議会意見による修正
	主な施策として、特産品となる新たな水産加工品の開発への支援について記載	スルメイカ加工品の開発、流通の支援に注力することが分かるように記載	未来会議意見による修正
	主な施策として、内水面漁業の振興について記載	具体的に、資源増殖を図るため小学校と連携した種苗放流を推進することを記載	庁内検討による修正
	主な施策として、飛島漁港での増養殖などストック機能の活用や酒田港の一層の利用を促進するなど、漁港港湾機能を強化することを記載	飛島における漁業振興策として、飛島の地形を生かした漁業や、漁港のストック機能を活用したアワビの増殖業など特産品の振興に取り組むことを具体的に記載。酒田港の一層の利用促進については、中型いか釣り船によるスルメイカの酒田港への水揚げに集約	飛島の漁業振興策については、未来会議意見による修正、その他は庁内検討による修正
	主な施策として、農商工連携等により、今までは未利用魚として流通していない魚なども活用し、新商品の開発や利用拡大を図る取り組みを推進することを記載	未利用魚に限定せず、消費拡大に向けた商品開発を推進することに変更	庁内検討による修正
3-1 移住者定住者が増えるまち	現状として移住相談窓口の体制及び相談件数の現状を別々に記載	移住相談窓口及び相談件数に関する記載を一本化し課題を明確化	庁内検討による修正
	現状として転入者アンケートの結果を記載	アンケートで把握できる移住者数は必ずしも移住施策に因らず、課題と方向性を示すことができないため削除	庁内検討による修正
	現状として地域おこし協力隊について記載	移住施策としての課題及び方向性が明確でないため削除	庁内検討による修正
	現状として若者の動向について「庄内地域の県立高校卒業者の約6割が県外へ転出」と記載	「新規高卒者の県内定着率は上昇傾向にあるものの、県内他地域と比較すると低水準」という記載に変更	政策2-3の表記に合わせたもの
3-2 「おもてなし」があふれ、交流でうるおうまち	—	「現状における課題」に課題を具体的に追記。	庁内検討による修正
	現状としてオハイオ州に関して記載	本文中の記載を削除し、表中にオハイオ州に関する記載を追加	庁内検討による修正
	主な施策として、農業体験、いか釣り船団、クルーズ船、スポーツイベントを記載	ジオパーク、東京オリパラリンピックホストタウン、日本遺産について追加で記載	庁内検討による修正
	—	今後の方向性として、アクションプランによる戦略的事業展開に関する記述を追加	庁内検討による修正

政策タイトル	第一次原案	第二次原案 素案	備考
3-3 「港」発の交流で賑わうまち	【酒田港】【庄内空港】で分類	【クルーズ船誘致・にぎわい創出】【みなとオアシスを活用したにぎわい創出】【庄内空港の利便性向上】に修正	庁内検討による修正
	—	「現状における課題」に課題を具体的に追記	庁内検討による修正
	主な施策に「新規路線の就航」の働きかけを記載	「LCCを含む新規路線の就航」に修正	審議会意見による修正
	市民ができること「酒田港、庄内空港の積極的な利用」	削除	審議会意見による修正
4-1 誰もがいきいきと暮らしやすいまち	課題として担い手不足、民生委員の空白域について記載	4-3から地域での介護予防の取り組みの記載を移行、新総合事業での多様な展開を目指すためにも担い手不足が課題と修正	庁内検討による修正 審議会意見による修正
	現状として包括支援センターの機能強化について記載	地域福祉のニーズの多様化と公的なサービスのみで埋められない現状、地域包括ケアシステムの構築による地域づくりの必要性・個別の相談内容の複雑困難化をそれぞれ課題として整理	庁内検討による修正 審議会意見による修正
	課題として福祉ニーズの多様化と相談事例の複雑困難化を、合わせて保健師の役割について記載		
	今後の方向性と主な施策に地域支え合い活動、担い手育成、地域包括ケアについて記載	今後の方向性と主な施策に、意識醸成、地域ケア会議、連携強化について追記	庁内検討による修正 審議会意見による修正
	今後の方向性として保健師の人員体制強化を記載	主な施策に吸収し、権利擁護体制の支援強化を追記し、あわせて記載	庁内検討による修正 審議会意見による修正
4-2 結婚・妊娠・出産・子育ての希望がかなうまち	現状として子育て世代包括支援センター「ぎゅっと」開設を記載	開設は課題でないため現状における課題からは削除。今後の方向性について産科・小児医療機関との連携を追記	庁内検討による修正
	現状として貧困・孤食・学習支援は現状把握が必要として記載	現状における課題として、対策のために関係機関の連携が求められていると修正。	審議会意見による修正
	主な施策にニーズに合った特別保育の拡充を記載。	特別保育の中身を追記のうえ、病時病後時保育について強調して追記。	審議会意見による修正
	主な施策に、子ども食堂や無料学習塾等、地域での子育て支援の検討を記載	支援の推進と積極的表現に修正	審議会意見による修正
4-3 健康でいつまでも活躍できるまち	現状と課題に介護予防の重要性、地域サロン活動の活発化に対する担い手不足を記載	地域での介護予防、居場所の取り組みは4-1に移行 4-3では認知症高齢者の増加、高齢者の運動習慣の必要性を現状における課題として記載	庁内検討による修正

政策タイトル	第一次原案	第二次原案 素案	備考
5-1 住民と行政の協働による地域運営ができるまち	「地域コミュニティ」について記載	「コミュニティ振興会」と「自治会」に分けて記載	庁内検討による意見
	【地域別人口の推移】の表を記載	同表を削除	庁内検討による意見
5-2 美しい景観と環境を「全員参加」でつくるまち	現状として酒田市環境基本計画策定し取り組んでいることを記載	現状のみの記述のため削除	庁内検討による修正
	今後の方向性として、「全員参加」を進めることを記載	「全員参加」の主体として、「市、市民、事業者」を追加	庁内検討による修正
	今後の方向性で、環境保全・廃棄物対策等について、環境保全・自然保護・循環型社会・低炭素社会の実現を一つの項目としてまとめて記載	項目を整理し、取り組む内容を具体的に記載	庁内検討による修正
	—	「市民ができること」の「3R」について注釈追記	庁内検討による修正
5-3 地域との連携でつくる安全・安心なまち	現状として火災の発生状況について記載	現状のみの記述のため削除	庁内検討による修正
	現状として住民への応急手当普及活動について記載	対応する今後の方向性が明確にないため削除	庁内検討による修正
5-4 「暮らしの足」が維持されるまち	—	「現状における課題」に課題を具体的に追記	庁内検討による修正
	—	「今後の方向性と主な施策」を一部具体的に追記	未来会議意見による修正 庁内検討による修正
	定期航路における成果指標「定期船乗客数」	「定期船の安全運行に支障を来たす事故発生件数」に修正	庁内検討による修正
	—	「市民ができること」を修正、追記	庁内検討による修正
6-1 ひと・もの・情報が集い、魅力と賑わいを創出するまち	—	個別の変更等なし	
6-2 交流の基盤となる高速交通ネットワークの実現に向けて一丸となって取り組んでいるまち	—	個別の変更等なし	
6-3 将来にわたり快適に利用できる生活インフラが整備されているまち	—	個別の変更等なし	
7-1 市民が満足する行政サービス	各種相談窓口、人材育成、その他行政サービス、ICT、協働のまちづくり推進に関して記載	政策シートを削除し、内容を「行財政運営の方針」という形で政策7-2と統合して別途記載	庁内検討による修正
7-2 効率的で効果的な行財政運営	財政運営、公共施設適正化、学校等跡地利活用、事務事業及び行政評価に関して記載	政策シートを削除し、内容を「行財政運営の方針」という形で政策7-1と統合して別途記載	庁内検討による修正